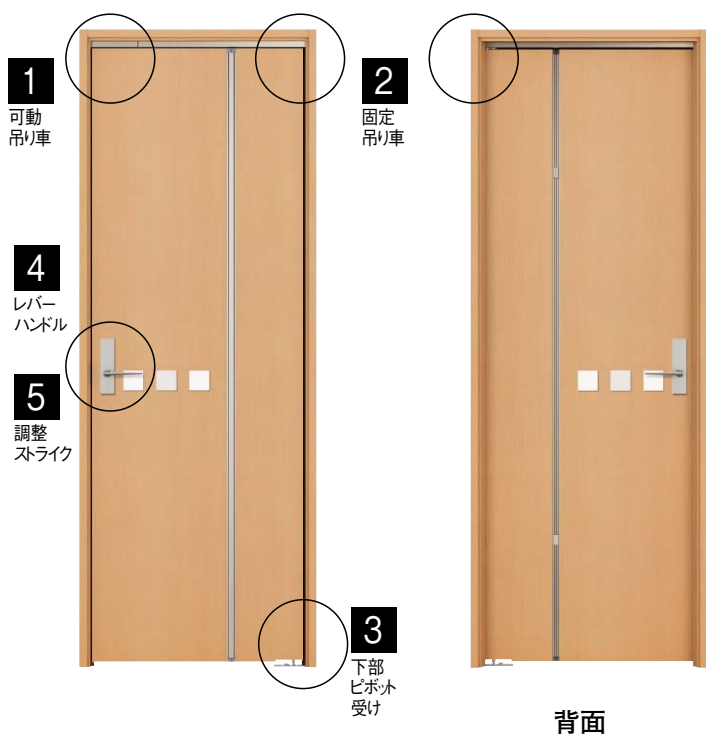


簡単な調整方法 Q & A スライドインドア

スライドインドア各部名称



可動吊り車



固定吊り車



下部ピボット受け



レバーハンドル



調整ストライク

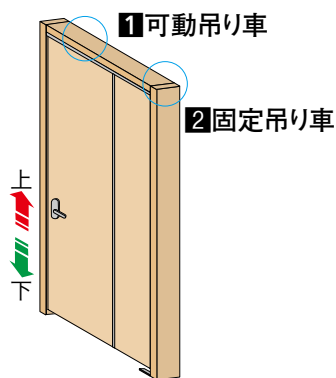
Q

ドア本体が枠や床に当たる。ドア本体と枠のすき間が一定にならない。

A

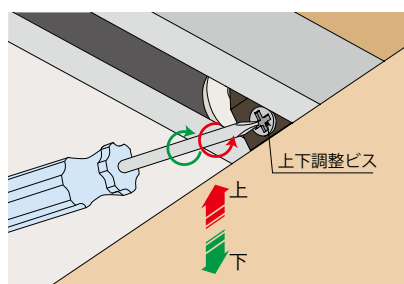
- ① 可動吊り車、固定吊り車の上下調整を行ってください。
- ② 固定吊り車、下部ピボット受けの前後調整を行ってください。
- ③ 固定吊り車、下部ピボット受けの左右調整を行ってください。

① 上下調整



可動吊り車、固定吊り車の上下調整を行ってください。

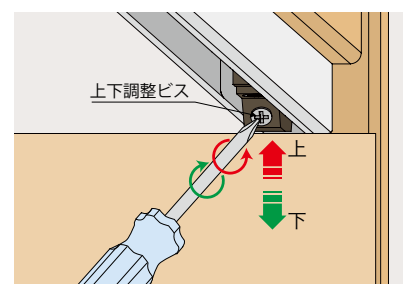
① 可動吊り車の上下調整



上下調整ビスを回してドア本体を上下に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
 右回し: 上に1mm
 左回し: 下に5mm

② 固定吊り車の上下調整

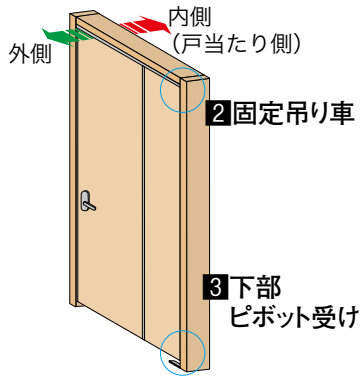


上下調整ビスを回してドア本体を上下に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
 右回し: 上に1mm
 左回し: 下に5mm

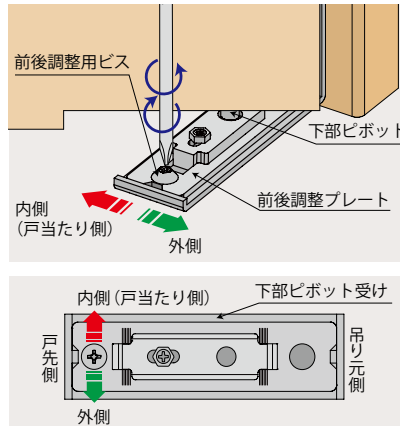
簡単な調整方法 Q & A スライドインドア

② 前後調整



固定吊り車、下部ピボット受けの前後調整を行ってください。

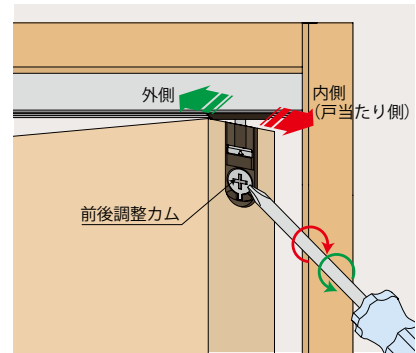
2 固定吊り車の前後調整



前後調整ビスを緩め、前後調整プレートを手で動かします。調整後は前後調整ビスを確実に締めてください。

調整範囲(出荷基準位置より)
 内側(戸当たり側) 1 mm
 外側に 3 mm

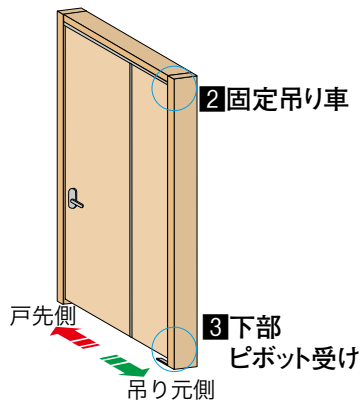
3 下部ピボット受けの前後調整



木口キャップを取り外し、前後調整カムを回し、調整します。調整後は木口キャップを取り付けてください。

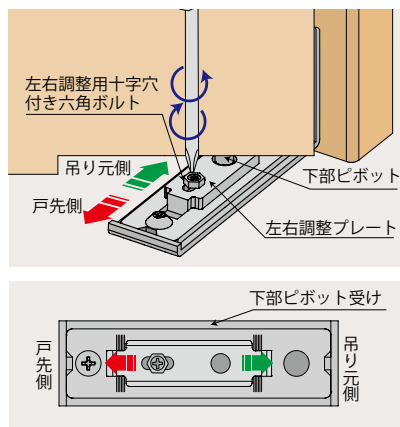
調整範囲(出荷基準位置より)
 ※右吊り元の場合
 右回し：内側(戸当たり側) 2.5 mm
 左回し：外側に 2.5 mm

③ 左右調整



固定吊り車、下部ピボット受けの左右調整を行ってください。

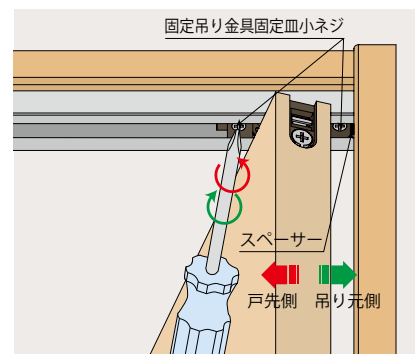
2 固定吊り車の左右調整



左右調整用十字穴付き六角ボルトを緩め、左右調整プレートを手で動かします。調整後は左右調整用十字穴付き六角ボルトを確実に締めてください。

調整範囲(出荷基準位置より)
 戸先側 2 mm
 吊り元側 2 mm

3 下部ピボット受けの左右調整



固定吊り金具固定皿小ネジを緩め、手で動かし調整します。調整後は固定吊り金具固定皿小ネジを確実に締めてください。
 吊り元側に動かしたい場合は、スペーサーを取り外してください。

調整範囲(出荷基準位置より)
 戸先側任意の位置まで移動可能
 吊り元側 2 mm (スペーサーを外した場合)

※戸先側は任意の位置まで移動させることが可能ですが、固定吊り金具の軸が下部ピボットと同一直線上にくるように適切な位置で止めてください。

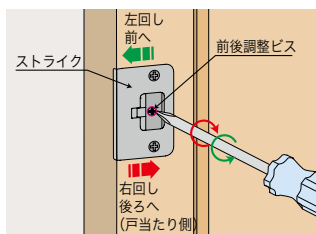
Q

ラッチがガタガタする。ラッチがかからない。

A

- ① ストライクの調整を行ってください。
- ② ドア本体が前後に傾いている可能性がありますので、蝶番の調整を行ってください。

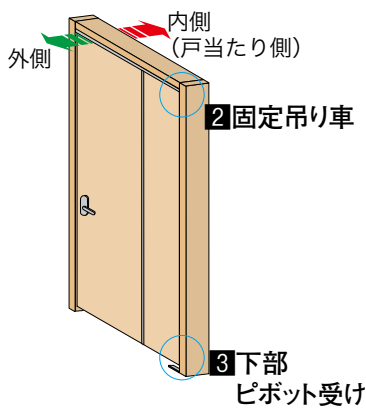
① ストライクの前後調整



前後調整ビスを回してストライク位置を調整します。
 ラッチがストライクの中でガタつく場合：右に回す。
 ラッチがかからない場合：左に回す。

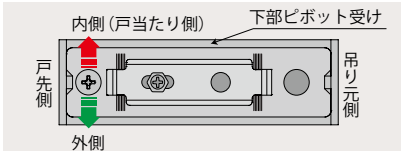
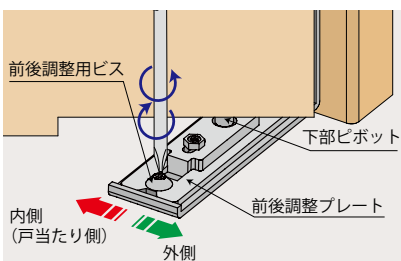
調整範囲(出荷基準位置より)
 右回し：後ろ(戸当たり側)に2mm
 左回し：前に4mm

② 蝶番の前後調整



固定吊り車、下部ピボット受けの前後調整を行ってください。

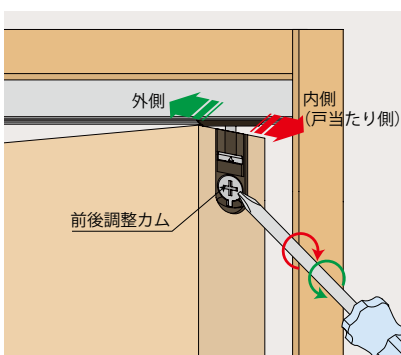
2 固定吊り車の前後調整



前後調整ビスを緩め、前後調整プレートを手で動かします。調整後は前後調整ビスを確実に締めてください。

調整範囲(出荷基準位置より)
 内側(戸当たり側)1mm
 外側に3mm

3 下部ピボット受けの前後調整



木口キャップを取り外し、前後調整カムを回し、調整します。調整後は木口キャップを取り付けてください。

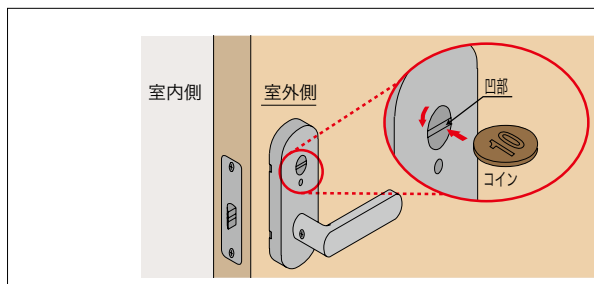
調整範囲(出荷基準位置より)
 ※右吊り元の場合
 右回し：内側(戸当たり側)2.5mm
 左回し：外側に2.5mm

Q

表示錠・間仕切錠の鍵を外から解錠したい。

A

室外側から次の操作で解錠することができます。



表示錠・間仕切錠では、コインなどを使用してレバーハンドル上部にある凹部を回転させると、解錠することができます。